

## ぼかし染色技術による結城紬の製品化

### 【相手先企業】

小林織物

### 【目的】

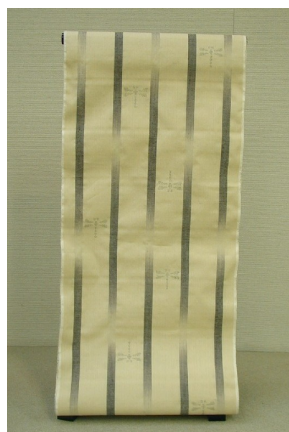
従来の本場結城紬ではみられない、ぼかし柄をデザインに取り入れた反物の製品化を目指しました。

### 【内容】

本場結城紬の染色は浸染による先染め染色のため、従来技法によるぼかし染色は、染色時の偶然性に依存し、ぼかし柄を意図的なデザインとして取り入れることが困難でした。そこで、温度と時間によって変化する染料の染着量の違いに着目し、糸かせを一浴中で、継続して段階的に濃度変化させるために最適な染色時間と温度条件について試験を行いました。

### 【成果】

ぼかし染色に最適な染色時間、温度条件を把握することができ、従来技法では困難であった、濃色から淡色へと自然な調子で、段階的に色を変化させた糸束の染色が可能となりました。また、このぼかし技術と本場結城紬の特徴である亀甲模様とを組み合わせ合わせた試作を実施し、実用的にも反物の製品化が可能であることが確認できました。今後、新しいデザインの製品として販売化していく予定です。



基礎となった事業：オンリーワン技術創出総合支援事業  
共同研究（平成17年度）

担当部署：繊維工業指導所 紬技術部門